

5.28三里塚東京集会で発せられた 全人民の勝利・未来をかけた闘い

成田空港拡張工事絶対阻止、農地強奪粉砕・脱派粉砕・一掃、五・二八三里塚東京集会が目黒公会堂において、労働者、学生、市民七六〇名の結集のもと開催された。

六千万労働者との合流を目指す

今集会は、三里塚芝山連合空港反対同盟が首都・東京に初めて乗り出し、三里塚闘争三〇年の闘いの原点―農地死守、二期阻止実力闘争―空港廃港への究極的な勝利へ向けて、六〇〇〇万労働者との合流を目指す画期的な集会として大成功を勝ち取った。

三里塚闘争は健在なり!

集会は、冒頭、反対同盟・北原事務局長が登壇し、「国家権

力との三里塚の闘いは三〇年を迎えた。一七年前に開港したが一本の滑走路しか出来ていない。なぜ出来ないのか? 政府の横暴を許すならば日本の未来はないということ、闘いが指し示してきたからだ。現地情勢は一七年前と何ら変わっていない。反対同盟は私利私欲のために闘ってきたのではない。反戦平和のために闘い抜く。これが三里塚闘争の原点だ。現在の既成政党には日本の未来は任せられない。統一地方選挙において三里塚勢力の議員全員が当選した。新しい潮流が第一歩を踏み出したものと受けとめている。全人民の勝利を本当につかみとらなければならぬ。三里塚は健在である。一〇・八全国集会を開催する。現地に起つてもらいたい」

と、基調提起がなされた。続いて動労千葉・田中書記長より、特別報告が行なわれ(要旨別掲)、反対同盟の決意表明に移った。敷地内・一東東一さん、婦人行動隊・郡司とめさんの、農地死守、二期実力阻止の力強い決意に満場の共感と拍手が、会場の中を嵐のごとく轟きわたった。

さらに関西新空港反対住民をはじめ、多くの住民団体の決意表明を受け、圧倒的迫力のもと集会宣言を採択し、三里塚を闘う労働運動―新たな労働運動の潮流の形成へ向けた闘いが、さらにまた一歩を踏み出した。

村山政権打倒! 朝鮮侵略戦争阻止! 戦後五〇年攻撃粉砕へ、さらに闘いを強化しよう!



三里塚勢力こそが時代を切り拓く

車の両輪に恥じない闘いを作る

田中書記長特別報告要旨
勝浦・水野、船橋・中江選挙闘争に勝利した。労働運動の新たな潮流へ向け、脱皮し生まれ変わる闘いこそ、「全国にはばたこう」運動であり、地域に乗り出す闘いの一環として勝利した。

動労千葉は、「車の両輪として闘いの一環をになう」。
分割・民営化以降、最大の攻撃がかかってくる。五月三日の清算事業団労働者に対する運輸省案とは、解雇撤回闘争が全労働者に波及することを恐れた政治的なものだ。二三日の動労千葉の清算事業団判決にお

ける「門前払い」と、期を一にした反動的攻撃だ。

その翌々日には、勝浦運転区廃止攻撃がかけられてきた。これは分・民時の、三里塚闘争破壊を含む、成田運転区廃止攻撃と同様の攻撃であり、組織の存亡をかけて闘うことを決定した。

分割・民営化体制は完全に破産している。貨物に続き四国・九州が赤字に転落した。ガタガタの状態だ。
大失業時代の到来の中で、国鉄闘争を水路として、時代を打ち破る気概をもって、新しい労働運動、三里塚闘争を、車の両輪に恥じない闘いをつくっていく。

